



2011~2012年度
国際ロータリーのテーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
2011~2012年度
RI会長 カルヤン・ハネルジー

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創 立 : 1980年(昭和55年)1月10日
会 長 : 高須 洋志
事 務 長 : 馬場 将嘉
クラブ広報委員長 : 関谷 俊征
例 会 日 : 毎週木曜日 PM12:30~
場 所 : ヒルトン名古屋

事 務 局 : 460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
T E L : 052-211-3803
F A X : 052-211-2623
M A I L : 2760_nagoya@mizuho-rc.jp
U R L : http://www.mizuho-rc.jp/

第1523回例会

2011年10月6日(木) 晴 第13回

~職業奉仕月間・米山月間~
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

司 会 : 湯澤信雄会場委員
齊 唱 : 「君が代」「奉仕の理想」
ビ ジ タ ー : 名古屋名南RC 川瀬悟さん

会長挨拶

高須洋志会長

地区への出向は中堅会員の育成という面を持ちます。クラブ内での会員の育成や研修と合わせて、地区を活用することによって中堅会員の育成をすることができるというシステムであります。うちのクラブから5名、地区大会委員会を含めると7名出向しています。5名というのはこの地区内では多い方あります。以前は少なかったのですが、地区への派遣が会員育成に繋がるということで遠山さんにご尽力頂き、たくさん出向させて頂いています。私もその中の一人で、新世代委員会やローターアクト委員会へ出向いたしました。計画的にある人数の会員を地区へ送るということは非常に大切だと思いますので、是非とも継続して頂きたいです。



9月には新世代月間にちなんだ卓話をして頂きましたが、10月は職業奉仕月間ということで今日は職業奉仕についての卓話をして頂きます。重要な概念であるにも関わらず、職業奉仕は説明しにくく、納得しにくいものです。それは何故かと言うと、元々ロータリー運動はアメリカから発生しており、日本語への適当な翻訳が難しく、理解の違いや開きができるわけです。例えば『職業』という言葉はbusinessやoccupationなどを使わず、vocationという言葉をあてています。vocationは日本語では天職と訳されます。欧米では天職は『神から与えられた仕事』という概念がありますが、これは東洋の仏教国にはない概念なので、日本人が理解するのは難しいです。vocationは元々の意味が天職で、サービスの精神を前提としています。『サービス』の日本語訳も難しく、『奉仕』と訳しています。例えば、郵便局の入口に「now in service」という言葉が書かれていた時、serviceを奉仕と理解するとややこしくなります。これは「便宜を提供しています」つまり「オープンしています」ということなのです。広い意味でのサービスの概念を限定的に『奉仕』と訳すとややこしくなるため、serviceという言葉そのものを使うクラブもあります。職業はvocationであり、その中にはサービスの概念が含まれているということをご理解頂きたいと思えます。

1905年はロータリー創立の年ですが、その頃のアメリカ経済社会は資本主義が勃興し、利益追求と他者を凌駕してでも利益を上げて、自分が勝ち残ろうとする雰囲気が強かった時代です。そこにvocationという観念を持ち込み、社会奉仕や職業奉仕に繋がる観念を盛り込んだのがシールドンでありロータリークラブです。従って、この職業奉仕というのは特に日本のRCにとって、重要な概念として今も尊重されております。

委員会・同好会報告

S.A.A:増田盛英S.A.A

地区ロータリー財団からのご報告です。本日、メールボックスにロータリーカードの冊子を入れました。ゴールドカードとシルバーカードがあり、ゴールドカードは会費3,000円、シルバーカードは会費はなく、買い物額の0.03%がRI財団へ入ります。使った額はご本人のRI財団への実績となりますので、契約をしていただきますよう、よろしくお願ひいたします。

ニコボックス

平野哲始郎ニコボックス委員

・約1ヶ月の欠席が続きました。9月15日胃部手術、9月28日退院いたしました。運良く術後の回復が早く10月1日より会社へ出勤しています。入院中は皆様からのお見舞いをいただき誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

岩本 成朗さん

・入会して3年になりました。先輩方々今後もよろしくお願い致します。

鈴木 淑久さん

・野崎様(ご夫人)お悔やみ申し上げます。ご葬儀に欠席して申し訳ありません。

天野 正明さん

・職業奉仕委員会の担当で高木さんに卓話をお願いしました。高木さんに感謝!

泉 憲一さん

・今日は、孫の賢人の誕生日です。帰りにケーキを買ってきます。

長瀬憲八郎さん

・今日は私の誕生日です。又、本日「職業奉仕」についての卓話をさせていただきます。

高木 勝さん

・クールビズ中です。

内田 久利さん

・平野さんにおどされましたので!

宗宮 信賢さん

・地区大会残り1ヶ月半となりました。皆様健康に留意して手抜かりのないようにしましょう。

稲葉 徹さん

10月お誕生日おめでとう

高木 勝さん 梅村昌孝さん 西本 哲さん

幹事報告

馬場将嘉幹事

- ・本日、例会時13:00より臨時的クラブフォーラムを開催します。
- ・同日13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第3回CA・第4回理事会を行います。
- ・次週10月13日(木)は、なごやか例会を行います。
- ・同日13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて推薦小委員会を行います。
- ・11月19日の会長代理ご夫妻歓迎晩餐会出欠も今日が最終の締切です。必ず出欠をお願い致します。
- ・10月27日(木)の予定を11:00より推薦小委員会、13:40より第15回地区大会実行委員会に変更いたします。
- ・11月3日(木)13:00~17:00までガバナー事務所にて大会プログラム事前発送準備を行います。第3部会が担当です。

会員67名 出席53名 (出席計算人数51名)

出席率 91.4%

9月29日は補填により 89.7%

臨時クラブフォーラム (会員推薦に関する細則の変更について)

議長:高須洋志会長 進行:馬場将嘉幹事

<幹事>本日の議題は会員推薦に関する細則の変更についてです。会員総数67名、出席51名ということで定足数に達していますので、このクラブフォーラムは成立いたします。

高須洋志会長

現在、新入会員の紹介は正会員2名の推薦により、入会を受けて入っていますが、その内1名は入会5年以上、もう1名は理事・役員経験者でなければなりません。理事・役員経験者はそのままが良いと思いますが、実際の推薦者が入会5年未満の会員の場合、代役を立てているのが現状です。そのため入会後に欠席が続き、推薦者からアドバイスをしてあげて欲しい時などに名簿を見ても、実際の推薦者が誰だか分からなくなっています。入会後のアクティブな状態の時にこそ新しい仲間を迎えたいと考えますが、その時はまだ推薦資格がないのです。そこで1名は引き続き理事・役員経験者、そしてもう1名を入会1年以上の正会員と改めようと提案し、理事会では承認されました。会員の皆様からも賛成・反対のご意見があれば伺いたいと思います。ご承認いただけましたら拍手をお願いいたします。(拍手)拍手多数により承認されました。ありがとうございました。

泉憲一職業奉仕委員長挨拶



本日の卓話は地区の職業奉仕委員会へ出向されている高木さんをお願いを致しました。先ほど会長が言われたように職業奉仕というものは大変難しいものですが、ご理解を深めていただけるようにご静聴の程よろしく願っています。

卓話

RI第2760地区職業奉仕委員会 高木勝委員

職業奉仕について



一昨年から地区の職業奉仕委員会へ出向しています。職業は株式会社中央保険サービスという保険代理店で損害保険と生命保険を取り扱っています。約640店ほどの代理店が加盟する愛知県損害保険代理業協会の会長を昨年から務めさせて頂くことで、業界への職業奉仕を行っています。

職業奉仕はロータリーの原点と言われていますが、非常に捉えにくく、なかなか理解していただけません。ロータリーには職業奉仕以外に、クラブ諸活動を行うクラブ奉仕、地域社会に奉仕する社会奉仕、国際社会に奉仕する国際奉仕、新世代に奉仕する新世代奉仕の五大奉仕があります。職業奉仕以外は奉仕する対象がはっきりしており、活動の成果や実績も表せます。しかし職業奉仕は結果が分かりにくく、はっきりとした答えがありません。職業奉仕とは自分の職業に対する奉仕ではなく、ロータリアン個人個人が自分の職業をもって、社会に奉仕することです。ロータリアン個人個人が自分の職業の質や道徳性を高め、自己の天職である職業を通じて社会的、また個人的に奉仕することが職業奉仕だと捉えればよしいかと思えます。職業奉仕を『職業』と『奉仕』の2つに切り離した方が分かりやすいのではないのでしょうか。職業は、私達が生活するために利益を得るための手段であり、お金を稼ぐために営む心を表しています。奉仕は自分以外の人や世のために何かをすることです。職業と奉仕はエネルギーが向いている方向が全く異なります。ロータリーで提唱されている『奉仕の理想』では、世のため人のために奉仕する心を

持って、自分の職業を営みなさいと言っています。職業を営むとは所得を獲得し、尚かつ利潤を儲けることですが、この儲ける課程の中に奉仕の理想が必要なのです。このことは標準RC定款第四条に綱領として書かれています。この中に出てくる鼓吹、育成とは自分や従業員など全ての人を対象とし、この考え方を奨励する意識を持って行うように書かれています。ロータリアンの事業の基礎に奉仕の心を置き、事業を運営し、そして例会内でも絶えず奉仕の心を育成・強化していくことが綱領の目的です。

職業奉仕理念の提唱者はアーサー・フレデリック・シェルドンです。当時は荒れた時代で商売も公明正大には行われていませんでしたが、彼は真面目にきちんと商売することが成功に繋がるとの経営方針を唱えていたのです。他人の立場を考え、他人のためになるように尽くし、サービスの精神に則り、行動することが成功への最も早道だと仰っています。1911年のポートランド大会で「He profits most who serves his fellows best (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)」を提唱し、大会で多くの賛同と支持を受けたそうです。シェルドンの唱えた職業奉仕におけるサービスとは事業が継続し、発展する条件であり、その中身には①適正な価格 ②経営者・従業員の接客態度 ③品揃え ④公正な広告 ⑤取扱商品に対する知識 ⑥アフターサービス があります。ロータリーの標語の『超我の奉仕』という言葉は、ベンジャミン・フランクリン・コリンズが同じく1911年のポートランド大会の「船上の即興演説」で言った「Service, not self (無私の奉仕)」という言葉が元になっています。日本では自己否定が強すぎて、適当ではないと、1921年頃に捉え方を変え、修正した「Service above self (超我の奉仕)」という言葉が誕生しました。チェスリー・R・ペリーの言葉に「自己の心を超越して、他人のことを思いやり、他人のために尽くす」というものがあります。この2つの提言は1950年のデトロイト国際大会で公式に奉仕の理念・標語として採用され、1989年にシンガポールで行われた規定審議会で「Service above self」が第1標語、「He profits most who serves best」が第2標語に指定され、今日に至っています。RI第2680地区バスタガバナーの田中さんという方は「He profits most who serves best」を「事業繁栄を願う職業奉仕理念」、「Service above self」を「弱者を助ける、人道的奉仕活動の理念」と分かりやすい日本語に訳されました。職業奉仕が職業を営む上での倫理を向上するのではなく、実践高い倫理に職業奉仕が従っていくという考え方がハーバート・テラーの提唱した『四つのテスト』です。ロータリアンはこの四つのテストという職業宣言を元に、水準を見極めます。四つのテストの内容は①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか です。この四つのテストを忘れない方法として『体にしみこみ』という言葉が披露したいと思えます。『体』は自分自身を表し、『しみこみ』は四つのテストの頭文字を取ってあります。この言葉と共に体に染みこませて頂ければ、いつ尋ねられても忘れることはないと思えます。

職業奉仕はクラブ例会の出席から始まり、例会での親睦を通じて奉仕の実践をし、切磋琢磨することが第1の目標です。「奉仕の前に人間修行を優先すること」という二宮尊徳さんの言葉があります。米山梅吉さんも「ロータリーの例会は人生の道場である」と仰っています。アメリカのケンドリック・ガンジーが提唱した「入りて学び出でて奉仕せよ」という言葉は職業奉仕に相通ずる部分があります。クラブ例会を奉仕と人格の形成の場とし、異業種の方との交流の中から心を磨き、ご自身の職業に活かして頂ければ、最高のロータリアンになれるのではないのでしょうか。

例会のご案内

■今週の行事 10月13日(木) なごやか例会

■次週の卓話 10月20日(木)

卓話講師:RI第2760地区R財団委員会カウンセラー
2007~2008年度バスタガバナー
江崎柳節さん

テ - マ:ポリオ撲滅の現状と今後の課題

■次々週卓話 10月27日(木)

米山奨学生:楽怡さん

テ - マ:脱メタボ!生活習慣病について知ろう